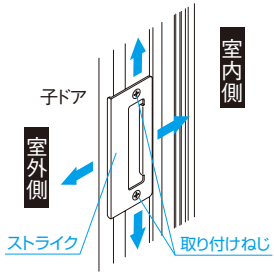
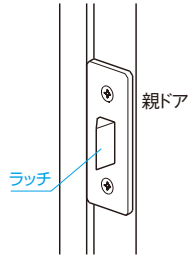
ストライクの調整

ドアのラッチや錠がかからない場合は、ストライクの取り付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。
調整後、ゆるめたねじを締めてください。

※ストライクを調整する際、取り付けねじは少しゆるめる程度とし、完全に取りはずさないようご注意ください。
（年代によっては玄関ドアの枠の内部に裏板が付いている商品があり、裏板が落ちると、ストライクが固定できなくなりますのでご注意ください）

※バラードについては、前後のみ調整できます。





ラフォース・プロセレーネ・ビノーザ

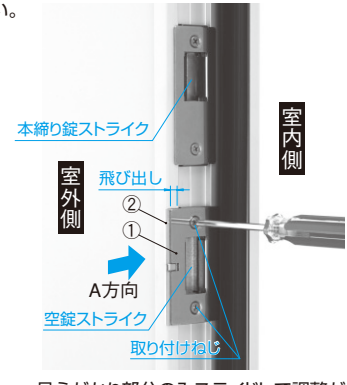
ドアの本締り錠や空錠がかからない場合は、ストライクの調整をしてください。
2方向（上下・前後）に調整できます。

調整範囲

■本締り錠ストライク
- ●上下方向…±3.5mm
- ●見込み［前後］方向…±3mm
  ［出荷時は、室外側へ1mm、室内側へ5mm調整可能な状態］

■空錠ストライク
- ●上下方向…±3.5mm
- ●見込み［前後］方向…±4mm
  ［出荷時は、室外側へ2mm、室内側へ6mm調整可能な状態］

※ラッチ錠用のストライクは衣服などの引っかけを防ぐため、外部への飛び出しが小さくなるよう①と②とがそれぞれ内外に動きます。
①でストライクの位置の調整を行いますが、その際②を室内側（A方向）に押し当て、行ってください。
調整後、ゆるめたねじを締めてください。



見えがかり部分のみスライドして調整ができます。